

「現代の国語」指導と評価の年間計画

学校(学科)名 福井県立勝山高等学校(普通科)

実施時期	単元名	単元の目標	指導事項(学習指導要領「現代の国語」の内容)										単元全体で取り上げる言語活動	単元の評価規準および評価方法			使用教材	備考 (他教科との関係、 学校図書館の活用、ICTの活用等)				
			〔知識及び技能〕					〔思考力、判断力、表現力等〕						知識・技能 (評価方法)	思考・判断・表現 (評価方法)	主体的に 学習に取り組む態度 (評価方法)						
			(1) 言葉の特徴や使い方に 関する事項	(2) 情報の扱い方に関 する事項	(3) 我が国の 言語文化に 関する事項	A 話すこと・聞くこと	B 書くこと	C 読むこと	D 話すこと・聞くこと	E 書くこと	F 読むこと											
4月中旬	評論文について 知ろう。	【知】言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解することができる。 【思】文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握することができる。													文章中の表現について、文章の論理の展開を踏まえて説明する。	言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解しようとしている。(ノートの記述の点検)	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握しようとしている。(ワークシートの記述の点検)	文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。(振り返りシートの記述の点検)	教科書「書けない日々」(数研出版)	・学校図書館での利用オリエンテーション後に本単元を実施 ・タブレット端末(振り返り記録)		
4月下旬～5月上旬	文の構造を考えながら、明確な文章を書こう。	【知】文、語、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解することができる。 【思】目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にすることが出来る。 【語】話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使うことができる。													文章内容を踏まえて、問題に沿った明確な文章を書く。	文、語、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解しようとしている。(ノートの記述の点検)	「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしようとしている。(作成した文章を自己評価)	課題テーマについて積極的に自分の考えを深め、筆者の文章を参考にしながら、学習課題に沿って適切な理由を述べようとしている。(ワークシートの記述の点検)	教科書「感情基盤社会の由来」(数研出版社)			
5月下旬	集めた情報を、わかりやすくまとめ、発表しよう。	【知】話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使うことができる。 【思】目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討することができる。													集めた情報と後者の内容を資料にまとめ、発表する。	話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使うようとしている。(ノートの記述の点検)	課題資料が示す内容や自分の問いの問題を積極的に関連付け、学習課題に沿って適切な解決策を考えようとしている。(ワークシートの記述の点検)	教科書「SDGs解決文」(数研出版社)	・総合的な探究の時間と連携			
6月上旬～下旬	対比構造を理解し活用しよう。	【知】主張と論拠など情報と情報との関係について理解することができる。 【思】文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握することができる。													文章内容に関連した具体例を探し、その内容を簡潔にまとめる。	主張と論拠など情報と情報との関係について理解しようとしている。(ノートの記述の点検)	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握しようとしている。(振り返りシートの記述の点検)	教科書「水の東西」(数研出版社)	・タブレット端末(振り返り記録)			
7月～	自分で問題を提起し、問題に沿った明確な文章を書こう。	【知】常用漢字の読み慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。 【思】目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にすることが出来る。													文章内容を踏まえて自分で問題を提起し、問題に沿った明確な文章を書く。	常用漢字の読み慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うようとしている。(ノートの記述の点検)	「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしようとしている。(作品の点検)	筆者の表現を積極的に読み解いて、その主張を理解し、自分の意見を具体的に述べようとしている。(振り返りシートの記述の点検)	教科書「科学コミュニケーション」(数研出版社)	・教科「数学」と連携 (振り返り記録)		
1 学期																						
9月	筆者の考えに対して意見文を書こう。	【知】実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やすために、語句や言葉の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 【思】読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度を考えて、文章の構成や展開を工夫することができる。														筆者の考えに対する自分の意見を、構成を工夫して文章にまとめる。	実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やすために、語句や言葉の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしようとしている。(ノートの記述の点検)	筆者の主張を的確に理解し、自分の考えを深め、筆者の文章を参考にしながら、学習課題に沿って条件を工夫しようとしている。(ワークシートの記述の点検)	教科書「デジタルメディア時代の模倣」(数研出版社)	・教科「美術」と連携		
10月	適切な事例や根拠を使いながら、自分の意見を言おう。	【知】引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め使うことができる。 【思】読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度を考えて、文章の構成や展開を工夫することができる。														引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め使うことができる。	引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め使うことができる。(ノートの記述の点検)	「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしようとしている。(ワークシートの記述の点検)	文章と資料が示す内容をあわせて理解し、具体的事例を用いて積極的に考えを深め、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。(振り返りシートの記述の点検)	教科書「俳言語コミュニケーション」(数研出版社)	・タブレット端末(振り返り記録)	
10月下旬～11月	読み手を意識して書こう。	【知】話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使うことができる。 【思】自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるときに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫することができる。														事例とハンプレットの表現の特徴を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使うようとしている。(ノートの記述の点検)	話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使うようとしている。(ノートの記述の点検)	「書くこと」において、自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるときに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫しようとしている。(作品の点検)	実用的な文章の身近な事例を積極的に調べ、学習課題に沿って適切な形式の文章を用いてまとめようとしている。(ワークシートの記述の点検)	教科書「目的に合わせた表現を工夫しよう」(数研出版社)	・事例の本文とハンプレット	
11月中旬～12月	適切な具体例を挿し出そう。	【知】個別の情報と一般化された情報との関係について理解することができる。 【思】自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるときに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫することができる。														文章内容に関連した具体例を探し、その内容について文章をまとめる。	個別の情報と一般化された情報との関係について理解しようとしている。(ノートの記述の点検)	「書くこと」において、自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるときに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫しようとしている。(ワークシートの記述の点検)	筆者の意見を踏まえた具体的な事例を粘り強く分析し、学習課題に沿って自分の考えを深めようとしている。(振り返りシートの記述の点検)	教科書「ものごとく」(数研出版社)	・タブレット端末(振り返り記録)	
12月	論議と結論を正しく整理し発表しよう。	【知】主張と論拠など情報と情報との関係について理解することができる。 【思】論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話し合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行と話し合いの仕方や結論の出方を工夫することができる。														言葉と文化の関係について発表する。	主張と論拠など情報と情報との関係について発表する。(ノートの記述の点検)	「読むこと」において、自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるときに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫しようとしている。(発表をルーブリックで評価)	テーマに関連する書籍を進んで読み、特定の言葉や概念について調べたりした上で、課題に沿って考えたことを説明しようとしている。(振り返りシートの記述の点検)	教科書「ここにも」(数研出版社)	・タブレット端末(振り返り記録)	
2 学期																						
1月中旬	実社会の状況を踏まえて読み込もう。	【知】議論の仕方を理解し使うことができる。 【思】目的や意図に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関連付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めることができる。														筆者の主張に対する自分の考えを、実社会の状況を踏まえて文章にまとめる。	議論の仕方を理解し使うことができる。(ノートの記述の点検)	「読むこと」において、目的や意図に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関連付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めようとしている。(作成した文章を相互評価)	筆者の考えを参考にしながら実社会の状況や問題点を粘り強く考察し、学習課題に沿って説明しようとしている。(ワークシートの記述の点検)	教科書「ポスト・プライバシー」(数研出版社)	・教科「地理公民」と連携	
1月下旬～2月中旬	事実の多面性と危険性についてとらえよう。	【知】情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使うことができる。 【思】目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめ、文章全体を踏まえたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特色や課題を捉え直しすることができる。														言葉や表現が読み手に与える印象を踏まえて、多面的に文章を書く。	情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深めようとしている。(ノートの記述の点検)	「書くこと」において、目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめ、文章全体を踏まえたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特色や課題を捉え直ししようとしている。(作成した文章をルーブリックで評価)	読み手を意識した構成・展開を積極的に考え、学習課題に沿って条件に即した文章をまとめようとしている。(ワークシートの記述の点検)	教科書「事実の多面性」(数研出版社)	・NIEの活動と連携	
2月中旬～3月	相手の考えを整理しながら、自分の考えを伝えよう。	【知】比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使うことができる。 【思】論議の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりすることができる。														1年間学んできた内容を活用し、ディベートを行う。	比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使うことができる。(ノートの記述の点検)	「話すこと」において、自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるときに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫しようとしている。(ディベート原稿の記述)	筆者の意見や参考資料をもとに実社会の問題について積極的に考え、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。(振り返りシートの記述の点検)	教科書「政治的思考」(数研出版社)	・タブレット端末(振り返り記録)	
3月中	反論を予想し、説得力のある発表しよう。	【知】自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論議の展開を考えると、話の構成や展開を工夫することができる。														反論を想像して、自分の意見を話す。	実社会との関わりを考慮するための話の構成や展開について理解を深めることができる。(ノートの記述の点検)	「話すこと」において、自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるときに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫しようとしている。(発表をルーブリックで評価)	異なる種類の文章を積極的に読み比べて、それぞれの筆者の立場を理解し、学習課題に沿って自分の考えを深めようとしている。(振り返りシートの記述の点検)	教科書「未来を築く」(数研出版社)	・タブレット端末(振り返り記録)	
各領域における授業時数の合計																		20	34	16		